

いばらきけんざいりょうこうぞうかいせきそうち こうせい

茨城県材料構造解析装置の構成

■ 用語解説 ■

高分解能バンク検出器、低角バンク検出器、特殊環境バンク検出器、小角バンク検出器を入れて4つの検出器から構成される。それぞれの検出器が実は多くの検出器を並べたもので、検出器単体は ^3He ガス検出器である。この単体検出器をたくさん並べて構成した4つの群をそれぞれ上記のように名づけている。

試料からの散乱中性子を測定するためになるべく広い散乱角をカバーするように配置されるが、中性子ビームの進行方向から順番に小角バンク（4度まで）、低角バンク（25度付近）、特殊環境バンク（90度付近）、高分解能バンク（背面バンクとも言い、180度近辺）となっている。